

令和 6 年度

東北自動車道

R 7 北上管内舗装補修工事

## 割掛対象表参考内訳書

- ・ 割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第 1 条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- ・ 割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受付けない。

令和 6 年 1 1 月

東日本高速道路株式会社 東北支社

北上管理事務所

## 割掛対象表参考内訳書

### 【共通仮設費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用機械 運搬費	質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	貨物自動車による運搬 ・大型路面切削機—重量 28.5 t—1 台—3 往復 運搬距離 54.7 km（片道）	
舗装修繕工 事機械現場 内移動費	高速道路上で行う舗装修繕工事における、基地から現場までの貨物自動車による運搬移動に要する費用をいう。	切削機、As フィニッシャー、マカダム、タイヤローラーの運搬移動 1. 東北自動車道 （1）一関基地（昼間搬入・昼間搬出）21 往復 単位あたりの標準運搬距離（片道）：18.8 km （2）北上金ヶ崎基地（昼間搬入・昼間搬出）25 往復 単位あたりの標準運搬距離（片道）：10.3 km （3）花巻南基地（昼間搬入・昼間搬出）16 往復 単位あたりの標準運搬距離（片道）：7.9 km 2. 秋田自動車道 （1）北上西基地（夜間搬入・夜間搬出）66 往復 単位あたりの標準運搬距離（片道）：5.7 km 3. 釜石自動車道 （1）東和基地（夜間搬入・夜間搬出）26 往復 単位あたりの標準運搬距離（片道）：6.1 km	
仮設材運搬 費	自工区外盛土場（釜石自動車道 矢沢盛土場）の進入路を設けるために行う、敷鉄板の運搬に要する費用をいう。	貨物自動車による運搬 ・敷鉄板 135.0 m <sup>2</sup> (24,060 kg) 運搬距離 41.5 km（片道）	○
はく離抵抗 試験費	高粘度改質アスファルトを用いない表層・基層・レベリング層に使用する混合物のはく離抵抗性の確認に必要な水浸ホイールトラッキング試験に要する費用をいう。試験方法は NEXCO 試験法 244 とし、1 工事当たりの供試体枚数は 2 枚とする。	試験枚数—12 枚 【内訳】 1. 高機能舗装Ⅱ型用アスファルト混合物 2 枚 2. 基層用遮水性アスファルト混合物（改質アスファルト） 4 枚（配合設計、試験練り 各 2 枚） 3. 橋梁レベリング層用アスファルト混合物 4 枚（配合設計、試験練り 各 2 枚） 4. 碎石マスチックアスファルト混合物Ⅱ型 2 枚	

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
高弾性上層 路盤用アス ファルト 混合物の試 験費	特記仕様書 2 1-3 「適用すべき諸基準」に規定する「高弾性上層路盤用混合物設計・施工管理要領（令和 6 年 4 月）」に基づく、アスファルト舗装関係試験の費用をいう。（舗装施工管理要領に規定する、アスファルト安定処理路盤用混合物の試験は除く）	1. アスファルト混合物の配合設計試験 【内訳】 （1）ホイールトラッキング試験 9 枚（1 配合/ 3 枚× 3 配合） （2）水浸ホイールトラッキング試験 6 枚（1 配合/ 2 枚× 3 配合） （3）繰返し間接引張試験によるスティフネスの測定 9 個（1 配合/ 3 個× 3 配合） （4）圧裂試験 9 個（1 配合/ 3 個× 3 配合） （5）疲労破壊回数試験 1 5 個（1 配合/ 5 個× 3 配合） 2. アスファルト混合物の試験練り 【内訳】 （1）繰返し間接引張試験によるスティフネスの測定 9 個（1 配合/ 3 個× 3 配合） （2）圧裂試験 9 個（1 配合/ 3 個× 3 配合）	

【準備工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用進入 路設置撤去 費	自工区外盛土場（釜石自動車道 矢沢盛土場）の進入路を設けるために行う、敷鉄板の設置撤去及び出入口の立入防止柵の撤去設置に要する費用をいう。	1. 敷鉄板 設置・撤去 1 3 5. 0 m <sup>2</sup> （1）設置期間 ・ 1 7 日 2. 立入防止柵撤去・再設置 8. 0 m	○

【雑工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																																																																					
残アスファルト合材等の取り除き費	路面切削工において橋梁部のレベリング層及びトンネル部の中間層を含めた改良を実施する場合における、路面切削後の床版面に残ったアスファルト合材や防水工の撤去に要する費用をいう。	バックホウ、コンプレッサー、ピックハンマー 1式																																																																						
		<table><thead><tr><th>対象橋梁</th><th>面積</th><th>既設床版防水の有無</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. 鶴巻橋（下り線）</td><td>3 1 0. 6 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>2. 月町橋（上り線）</td><td>2 0 4. 0 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>3. 平泉トンネル（下り線）</td><td>3 4 4 7. 5 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>4. 城堰川橋（上り線）</td><td>3 6 8. 6 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>5. 羽沢橋（下り線）</td><td>1 5 3. 8 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>6. 上宿内川橋（上り線）</td><td>5 2 0. 0 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>7. 北荒巻橋（下り線 走行車線）</td><td>1 5 9. 3 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>8. 上渋川橋（下り線 追越車線）</td><td>1 0 9. 2 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>9. 関沢川橋（上り線）</td><td>1 6 2. 1 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>1 0. 岡田橋（上り線）</td><td>1 9 4. 1 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>1 1. 茨久保橋（下り線）</td><td>2 0 2. 1 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>1 2. 夏油川橋（上下線）</td><td>1 2 7 6. 5 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>1 3. 宮沢橋（上下線）</td><td>1 7 6 4. 0 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>1 4. 熊沢橋（上下線）</td><td>1 0 4 7. 1 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr><tr><td>1 5. 荒屋沢橋（上下線）</td><td>1 4 8 7. 1 m<sup>2</sup></td><td>無</td></tr></tbody></table> <p>舗装修繕機械現場内移動</p> <p>バックホウ、コンプレッサー、ピックハンマー 1式</p> <p>1. 東北自動車道</p> <table><tbody><tr><td>（1）一関基地</td><td>（昼間搬入・昼間搬出）</td><td>5往復</td></tr><tr><td colspan="3">単位あたりの標準運搬距離（片道）：1 8. 7 k m</td></tr><tr><td>（2）北上金ヶ崎基地</td><td>（昼間搬入・昼間搬出）</td><td>1 0往復</td></tr><tr><td colspan="3">単位あたりの標準運搬距離（片道）： 9. 8 k m</td></tr><tr><td>（3）花巻南基地</td><td>（昼間搬入・昼間搬出）</td><td>4往復</td></tr><tr><td colspan="3">単位あたりの標準運搬距離（片道）：1 1. 2 k m</td></tr></tbody></table> <p>2. 秋田自動車道</p> <table><tbody><tr><td>（1）北上西基地</td><td>（夜間搬入・夜間搬出）</td><td>3 6往復</td></tr><tr><td colspan="3">単位あたりの標準運搬距離（片道）： 2. 6 k m</td></tr></tbody></table>	対象橋梁	面積	既設床版防水の有無	1. 鶴巻橋（下り線）	3 1 0. 6 m <sup>2</sup>	無	2. 月町橋（上り線）	2 0 4. 0 m <sup>2</sup>	無	3. 平泉トンネル（下り線）	3 4 4 7. 5 m <sup>2</sup>	無	4. 城堰川橋（上り線）	3 6 8. 6 m <sup>2</sup>	無	5. 羽沢橋（下り線）	1 5 3. 8 m <sup>2</sup>	無	6. 上宿内川橋（上り線）	5 2 0. 0 m <sup>2</sup>	無	7. 北荒巻橋（下り線 走行車線）	1 5 9. 3 m <sup>2</sup>	無	8. 上渋川橋（下り線 追越車線）	1 0 9. 2 m <sup>2</sup>	無	9. 関沢川橋（上り線）	1 6 2. 1 m <sup>2</sup>	無	1 0. 岡田橋（上り線）	1 9 4. 1 m <sup>2</sup>	無	1 1. 茨久保橋（下り線）	2 0 2. 1 m <sup>2</sup>	無	1 2. 夏油川橋（上下線）	1 2 7 6. 5 m <sup>2</sup>	無	1 3. 宮沢橋（上下線）	1 7 6 4. 0 m <sup>2</sup>	無	1 4. 熊沢橋（上下線）	1 0 4 7. 1 m <sup>2</sup>	無	1 5. 荒屋沢橋（上下線）	1 4 8 7. 1 m <sup>2</sup>	無	（1）一関基地	（昼間搬入・昼間搬出）	5往復	単位あたりの標準運搬距離（片道）：1 8. 7 k m			（2）北上金ヶ崎基地	（昼間搬入・昼間搬出）	1 0往復	単位あたりの標準運搬距離（片道）： 9. 8 k m			（3）花巻南基地	（昼間搬入・昼間搬出）	4往復	単位あたりの標準運搬距離（片道）：1 1. 2 k m			（1）北上西基地	（夜間搬入・夜間搬出）	3 6往復	単位あたりの標準運搬距離（片道）： 2. 6 k m
対象橋梁	面積	既設床版防水の有無																																																																						
1. 鶴巻橋（下り線）	3 1 0. 6 m <sup>2</sup>	無																																																																						
2. 月町橋（上り線）	2 0 4. 0 m <sup>2</sup>	無																																																																						
3. 平泉トンネル（下り線）	3 4 4 7. 5 m <sup>2</sup>	無																																																																						
4. 城堰川橋（上り線）	3 6 8. 6 m <sup>2</sup>	無																																																																						
5. 羽沢橋（下り線）	1 5 3. 8 m <sup>2</sup>	無																																																																						
6. 上宿内川橋（上り線）	5 2 0. 0 m <sup>2</sup>	無																																																																						
7. 北荒巻橋（下り線 走行車線）	1 5 9. 3 m <sup>2</sup>	無																																																																						
8. 上渋川橋（下り線 追越車線）	1 0 9. 2 m <sup>2</sup>	無																																																																						
9. 関沢川橋（上り線）	1 6 2. 1 m <sup>2</sup>	無																																																																						
1 0. 岡田橋（上り線）	1 9 4. 1 m <sup>2</sup>	無																																																																						
1 1. 茨久保橋（下り線）	2 0 2. 1 m <sup>2</sup>	無																																																																						
1 2. 夏油川橋（上下線）	1 2 7 6. 5 m <sup>2</sup>	無																																																																						
1 3. 宮沢橋（上下線）	1 7 6 4. 0 m <sup>2</sup>	無																																																																						
1 4. 熊沢橋（上下線）	1 0 4 7. 1 m <sup>2</sup>	無																																																																						
1 5. 荒屋沢橋（上下線）	1 4 8 7. 1 m <sup>2</sup>	無																																																																						
（1）一関基地	（昼間搬入・昼間搬出）	5往復																																																																						
単位あたりの標準運搬距離（片道）：1 8. 7 k m																																																																								
（2）北上金ヶ崎基地	（昼間搬入・昼間搬出）	1 0往復																																																																						
単位あたりの標準運搬距離（片道）： 9. 8 k m																																																																								
（3）花巻南基地	（昼間搬入・昼間搬出）	4往復																																																																						
単位あたりの標準運搬距離（片道）：1 1. 2 k m																																																																								
（1）北上西基地	（夜間搬入・夜間搬出）	3 6往復																																																																						
単位あたりの標準運搬距離（片道）： 2. 6 k m																																																																								

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
事前コア採取費	舗装修繕工事において、施工開始前に実施する舗装部のコア採取に要する費用をいう。コア採取は、舗装調査・試験法便覧G005の試験に基づき、土工部においては舗装表面から上層路盤（加熱アスファルト安定処理路盤用混合物）の下面まで、φ10cmのコアを採取する。コア採取孔は、アスファルト混合物で埋戻し、舗装体として十分に機能するよう復旧するものとする。なお、採取ピッチは100m毎に3本とし、これに要する交通規制、交通監視員費は含むものとし、共通仕様書第19章「交通規制工」及び本特記仕様書22-9「交通規制工」に準じて実施するものとする。	<p>1. 東北自動車道（土工部）</p> <p>（1）平均コア削孔長さ 28cm</p> <p>（2）コア採取数 400個</p> <p>（3）交通規制工</p> <p>1）車線規制Ⅰ×1×0（東北道） 18回</p> <p>2）車線規制Ⅰ×1×0（東北道）A 11回</p> <p>3）車線規制Ⅱ×1×0（東北道） 15回</p> <p>4）車線規制Ⅱ×1×0（東北道）A 5回</p> <p>5）車線規制（昼夜連続）Ⅱ×1×0×1（東北道） 3回</p> <p>（特記仕様書 22-15-4「夜間巡回」に示す内容を含む）</p> <p>（4）交通保安要員</p> <p>1）交通監視員A1（交代要員不要） 64人・日</p> <p>2）交通監視員A2（交代要員不要） 20人・日</p> <p>3）交通監視員A3（交代要員を含む） 21人・日</p> <p>4）交通監視員A4（交代要員を含む） 6人・日</p> <p>5）交通監視員A5（交代要員を含む） 3人・日</p> <p>6）交通監視員A6（交代要員を含む） 9人・日</p> <p>2. 秋田自動車道（土工部）</p> <p>（1）平均コア削孔長さ 20cm</p> <p>（2）コア採取数 55個</p> <p>（3）交通保安要員</p> <p>1）交通誘導警備員B2（Y）（交代要員不要） 2人・日</p> <p>2）交通誘導警備員B3（Y）（交代要員を含む） 4人・日</p> <p>※夜間通行止めにて行うものとする。</p> <p>3. 秋田自動車道（ランプ部）</p> <p>（1）平均コア削孔長さ 20cm</p> <p>（2）コア採取数 4個</p> <p>（3）交通保安要員</p> <p>1）交通誘導警備員B1（Y）（交代要員不要） 1人・日</p> <p>※夜間通行止めにて行うものとする。</p> <p>4. 釜石自動車道（土工部）</p> <p>（1）平均コア削孔長さ 18cm</p> <p>（2）コア採取数 107個</p> <p>（3）交通保安要員</p> <p>1）交通誘導警備員B3（Y）（交代要員を含む） 10人・日</p> <p>2）交通誘導警備員B4（Y）（交代要員を含む） 2人・日</p> <p>※夜間通行止めにて行うものとする。</p>	○

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）					図面																																	
試験舗装費 A	良好なアスファルト表層工等を仕上げるために敷均し、締固め方法等を検討することを目的に行う舗装をいい、従来舗装の切断、切削、舗装廃材の処理、混合物の製造、運搬及び舗設、瀝青材散布等に要する費用をいう。	<table><thead><tr><th>混合物の種類</th><th>予定面積</th><th>実施予定 場 所</th><th>単価表の項目</th><th>摘要</th></tr></thead><tbody><tr><td>高機能舗装Ⅱ型用アスファルト混合物 試験舗装厚さ4 c m</td><td rowspan="2">約150㎡</td><td rowspan="4">一関ⅠC 内プラザ</td><td>オーバーレイ工 オーバーレイ工KⅡ （t＝4 c m） 切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝4 c m） 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝10 c m）</td><td rowspan="2">2層施工</td></tr><tr><td>基層用遮水性アスファルト混合物 試験舗装厚さ6 c m</td><td>切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝10 c m）</td></tr><tr><td>橋梁レベリング層用アスファルト混合物 試験舗装厚さ3．5 c m</td><td>約150㎡</td><td>レベリング工 FB13（B）</td><td rowspan="2">1層施工</td></tr><tr><td>砕石マスチックアスファルト混合物Ⅱ型 試験舗装厚さ3．5 c m</td><td>約150㎡</td><td>レベリング工 SMAⅡ型</td></tr></tbody></table>					混合物の種類	予定面積	実施予定 場 所	単価表の項目	摘要	高機能舗装Ⅱ型用アスファルト混合物 試験舗装厚さ4 c m	約150㎡	一関ⅠC 内プラザ	オーバーレイ工 オーバーレイ工KⅡ （t＝4 c m） 切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝4 c m） 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝10 c m）	2層施工	基層用遮水性アスファルト混合物 試験舗装厚さ6 c m	切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝10 c m）	橋梁レベリング層用アスファルト混合物 試験舗装厚さ3．5 c m	約150㎡	レベリング工 FB13（B）	1層施工	砕石マスチックアスファルト混合物Ⅱ型 試験舗装厚さ3．5 c m	約150㎡	レベリング工 SMAⅡ型															
混合物の種類	予定面積	実施予定 場 所	単価表の項目	摘要																																				
高機能舗装Ⅱ型用アスファルト混合物 試験舗装厚さ4 c m	約150㎡	一関ⅠC 内プラザ	オーバーレイ工 オーバーレイ工KⅡ （t＝4 c m） 切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝4 c m） 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝10 c m）	2層施工																																				
基層用遮水性アスファルト混合物 試験舗装厚さ6 c m			切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ （t＝10 c m）																																					
橋梁レベリング層用アスファルト混合物 試験舗装厚さ3．5 c m	約150㎡		レベリング工 FB13（B）	1層施工																																				
砕石マスチックアスファルト混合物Ⅱ型 試験舗装厚さ3．5 c m	約150㎡		レベリング工 SMAⅡ型																																					
試験舗装費 B	良好な高弾性上層路盤用アスファルト混合物を仕上げるために敷均し、締固め方法等を検討することを目的に行う舗装をいい、従来舗装の切断、切削、舗装廃材の処理、混合物の製造、運搬及び舗設、瀝青材散布等に要する費用をいう。	<table><thead><tr><th>混合物の種類</th><th>予定面積</th><th>実施予定 場 所</th><th>単価表の項目</th><th>摘要</th></tr></thead><tbody><tr><td>高弾性上層路盤用アスファルト混合物 試験舗装厚さ15 c m</td><td>約150㎡</td><td rowspan="2">一関ⅠC 内プラザ</td><td>切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工H i MA （t＝15 c m）</td><td rowspan="2">2層施工</td></tr><tr><td>高弾性上層路盤用アスファルト混合物 試験舗装厚さ18 c m</td><td>約150㎡</td><td>切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工H i MA （t＝18 c m）</td></tr></tbody></table>					混合物の種類	予定面積	実施予定 場 所	単価表の項目	摘要	高弾性上層路盤用アスファルト混合物 試験舗装厚さ15 c m	約150㎡	一関ⅠC 内プラザ	切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工H i MA （t＝15 c m）	2層施工	高弾性上層路盤用アスファルト混合物 試験舗装厚さ18 c m	約150㎡	切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工H i MA （t＝18 c m）																					
混合物の種類	予定面積	実施予定 場 所	単価表の項目	摘要																																				
高弾性上層路盤用アスファルト混合物 試験舗装厚さ15 c m	約150㎡	一関ⅠC 内プラザ	切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工H i MA （t＝15 c m）	2層施工																																				
高弾性上層路盤用アスファルト混合物 試験舗装厚さ18 c m	約150㎡		切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工H i MA （t＝18 c m）																																					
仮路面標示 工費	既設のセンターライン及び外側路面標示等が施工に伴い消滅するような場合に、視線誘導として速乾性を有する常温型トラフィックペイントで仮路面標示を設置する費用をいう。（幅5 c m）	<table><thead><tr><th>対象箇所</th><th>延長</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>1．夏油川橋</td><td>128．0 m</td><td>実線</td></tr><tr><td>2．宮沢橋</td><td>176．6 m</td><td>実線</td></tr><tr><td>3．熊沢橋</td><td>105．0 m</td><td>実線</td></tr><tr><td>4．荒屋沢橋</td><td>149．0 m</td><td>実線</td></tr><tr><td>5．湯田ⅠC</td><td></td><td></td></tr><tr><td>（1）Aランプ</td><td>135．2 m</td><td>実線・文字・矢印</td></tr><tr><td>（2）Bランプ</td><td>117．0 m</td><td>実線・矢印</td></tr><tr><td>6．工区番号 東北12</td><td>1．0 m</td><td>実線</td></tr><tr><td>7．工区番号 東北33</td><td>1．0 m</td><td>実線</td></tr><tr><td>8．工区番号 秋田8</td><td>1．0 m</td><td>実線</td></tr></tbody></table>					対象箇所	延長	備考	1．夏油川橋	128．0 m	実線	2．宮沢橋	176．6 m	実線	3．熊沢橋	105．0 m	実線	4．荒屋沢橋	149．0 m	実線	5．湯田ⅠC			（1）Aランプ	135．2 m	実線・文字・矢印	（2）Bランプ	117．0 m	実線・矢印	6．工区番号 東北12	1．0 m	実線	7．工区番号 東北33	1．0 m	実線	8．工区番号 秋田8	1．0 m	実線	○
対象箇所	延長	備考																																						
1．夏油川橋	128．0 m	実線																																						
2．宮沢橋	176．6 m	実線																																						
3．熊沢橋	105．0 m	実線																																						
4．荒屋沢橋	149．0 m	実線																																						
5．湯田ⅠC																																								
（1）Aランプ	135．2 m	実線・文字・矢印																																						
（2）Bランプ	117．0 m	実線・矢印																																						
6．工区番号 東北12	1．0 m	実線																																						
7．工区番号 東北33	1．0 m	実線																																						
8．工区番号 秋田8	1．0 m	実線																																						

○